1997年9月5日発行

みなみかわち 町議会ネットワークニュース（第93号）


村尾光子
祇園五丁目11−3
TEL&FAX:44-5418


磯辺香代
祇園二丁目8−2
TEL&FAX:44-6621


荒井英子
祇園四丁目5−12
TEL&FAX:40-1014

今回は常任委員会の視察研修報告です。

☆荒井英子
経済常任委員会
①新潟県広神村（6月26日）
『農業集落排水事業』
②新潟県越路町（6月27日）
『農業集落排水事業』

☆磯辺香代
建設常任委員会
①埼玉県岡部町（6月26日）
『道の駅「おかべ」』

☆村尾光子
◎教育民生常任委員会
①福島県三春町（7月8日）
『町立沢石中学校における個性化教育』
②茨城県日立市（7月9日）
『生涯学習拠点施設日立シビックセンター』

◎市川房枝記念会主催ｽｳｪｰﾃﾞﾝ•ｽﾀﾃﾞｨﾂｱｰに参加して
スウェーデン（7月31日～8月8日）
『女性の政治参画と高齢者福祉』

もくじ

荒井英子の研修報告



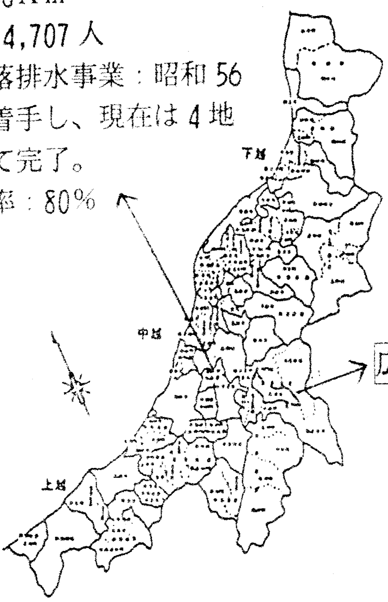
経済常任委員会視察研修（平成９年６月２６～２７日）

農業集落排水事業処理施設の管理状況について

研修地　１日目‥新潟県北魚沼郡広神村
　　　　２日目‥　〃　　三島郡越路町

越路町

面積：58Ｋ㎡
人口：14,707人
農業集落排水事業：昭和56年より着手し、現在は4地区すべて完了。
水洗化率：80％



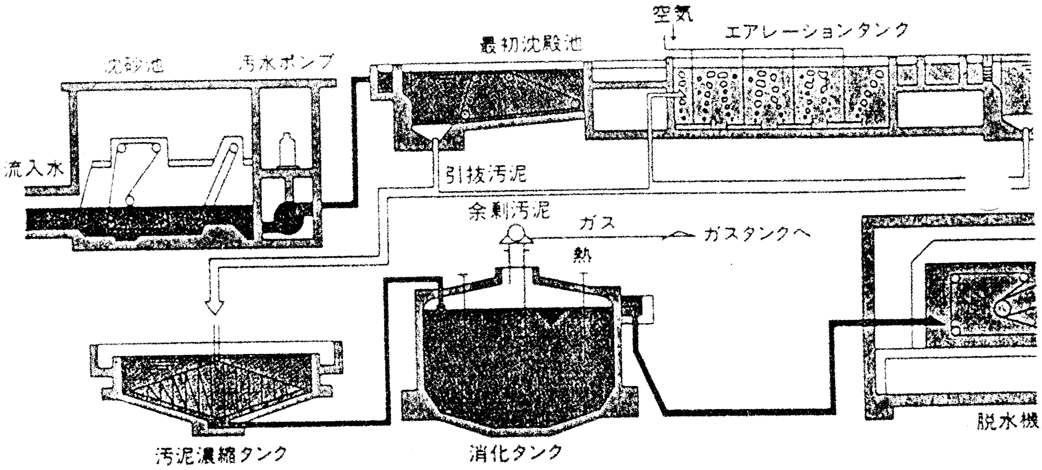
南河内町

面積：31.53Ｋ㎡　　人口：20,839人
農業集落排水事業：平成4年より着手し、現在は、吉田東地区が供用開始、吉田西地区を工事中。残り2地区を計画中。
水洗化率：50.2％

広神村

面積：105.6Ｋ㎡　　人口：9,417人
農業集落排水事業：昭和52年より着手し、現在は5地区が完了、2地区を工事中。平成12年度に完了予定。
水洗化率：77.1％

下水の処理方法

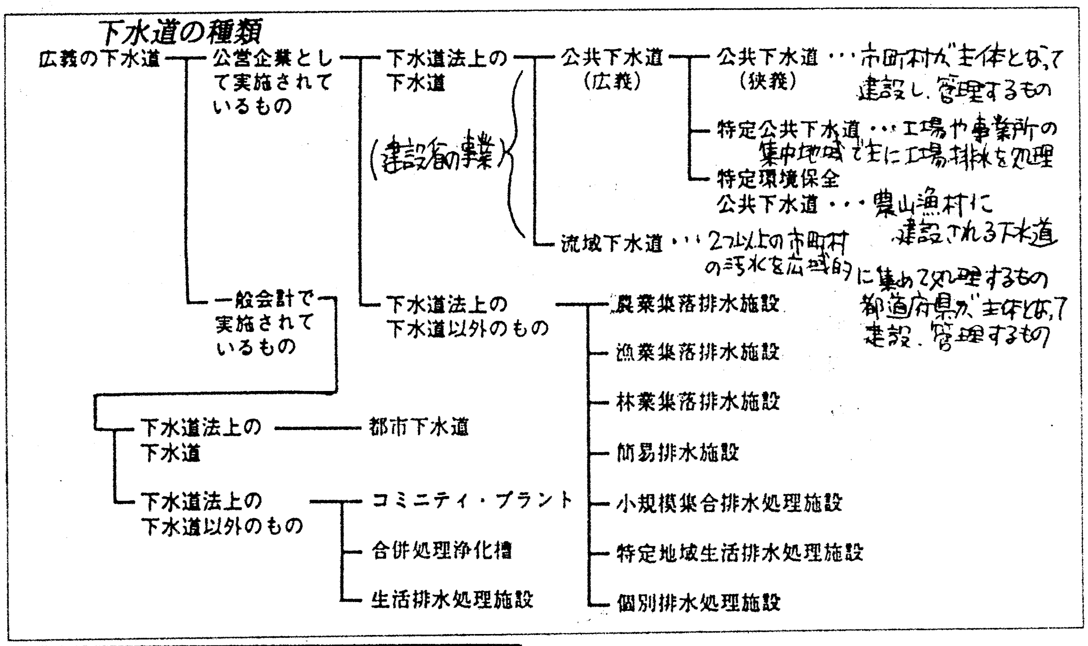


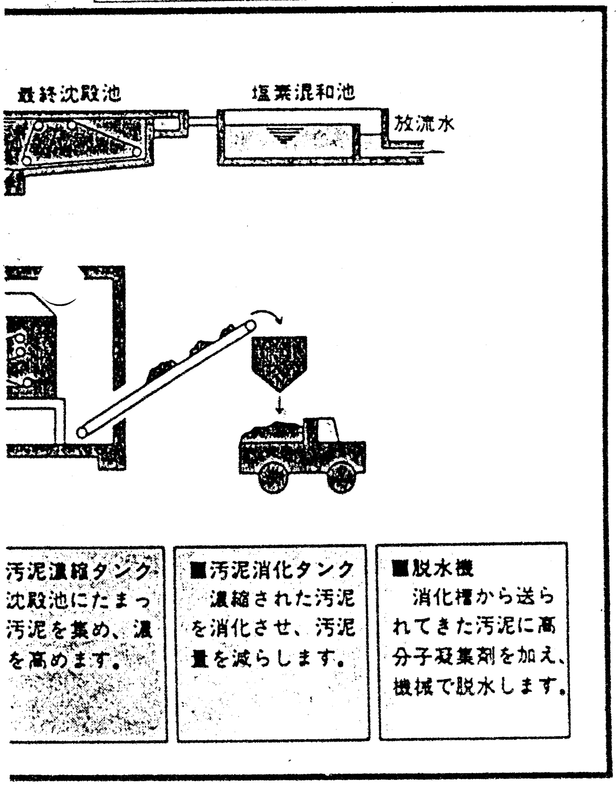
■沈砂池 ここでは流入下水中の荒砂と浮いているゴミを粗目、細目のスクリーンで取りのぞきます。	■最初沈殿池 ここでは下水をゆっくり流して沈殿しやすい浮遊物を底に沈ませます。	■エアレーションタンク ここでは最初沈殿池から来た下水に最終沈殿池から送られた活性汚泥（好気性微生物を多量に含んだドロ）を加え空気を吹きこんでやります。	■最終沈殿池 沈殿しやすくなった活性汚泥はここで底に沈み、きれいになった上澄みだけが放流されます。	■塩素混和池 きれいになった下水は放流水路を流れ、途中病原菌をころすため塩素を加え消毒してから魚野川へ放流します。	■ た 度

農業集落排水事業とは…、（農水省の事業）

… 一言でいうと、農業振興地域内の下水道整備のことです。

目的：農業集落におけるし尿、生活雑排水等の汚水または雨水を処理する施設を整備し、農業用用水排水の水質保全、農業用用排水施設の機能維持、または農村生活環境の改善を図り、併せて公共水域の水質保全に寄与する。





当町は、祇園・緑地区が流域関連公共下水道により整備され99%水洗化されているが、農業振興地域の整備を農業集落排水事業で取り組み始めたところである。

下水道整備は、生活環境の整備・水質保全のために必要な事業であるが、処理施設の設置には住民の理解と協力が必要となってくる。今回の研修は、周辺住民の方が特に関心を寄せている処理施設での臭気並びに放流水の現状についての視察研修であったが、その両方とも問題なしという結果であった。

下水道整備の仕方は、大きく分けると建設省と農水省の事業に分かれ、またその中も地域性により分けられている。今後、仁良川地区は流域下水道、薬師寺地区は特定環境保全公共下水道で整備していく予定である。

◆建設常任委員会視察研修報告

（報告；磯辺）



> 日時：Ｈ９年６月２６日～２７日
> 視察研修先：埼玉県岡部町
> 道の駅「おかべ」

今年度も建設常任委員会は「道の駅」を視察した。

「道の駅」は、道路管理者(建設省)が道路整備の一貫として設置する休憩施設で、市町村等の整備する各種の地域振興施設を一体的に整備する複合施設である。「おかべ」は、第11次道路整備5カ年計画(93～97)の中で整備が進んだが、資金面で建設省が担当するのは、駐車場とトイレ部分だけなので、町は地域振興施設部分の建設資金の捻出に苦労したとのことであった。

道の駅「おかべ」

○岡部町について

・埼玉県の北西部に位置し首都から75km圏内にある

・面積30.57k㎡
（南河内町
：31.5k㎡）

・人口18736
（平成6年1月1日）

・決算規模
54億9260万円
（平成4年度歳出決算額）
自主財源57.2%（平成4年）



・農業粗生産額は野菜・畜産品を中心に年々伸びているが、後継者不足のため農家戸数　耕地面積は減少している

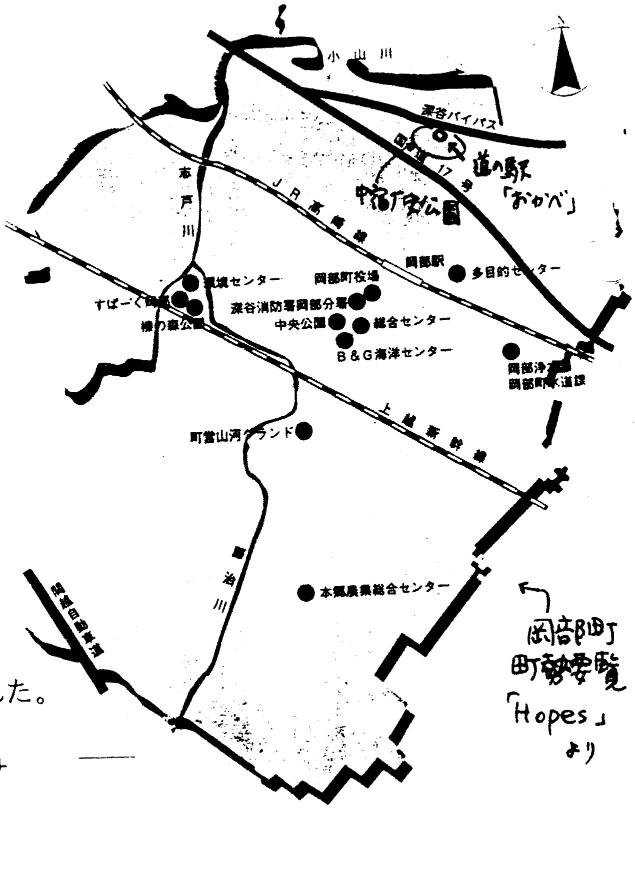
・町内に100余りの工場がある　（漬物加工・電気機械器具・一般機械器具など）

・埼玉工業大学がある

・ＪＲ高崎線と国道17号、同バイパス、関越自動車道などが町を横切っている

・平成3年、宅地造成開発に伴い行なわれた発掘調査で奈良時代後期のものと考えられる大規模な建物跡が発見され、「中宿古代倉庫群跡」という名称で、埼玉県の史跡に指定された。

・道の駅「おかべ」の整備は、上記の中宿歴史公園整備事業と一体型として推進された。

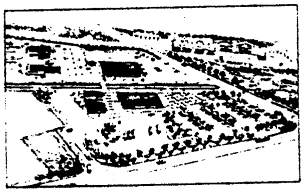


岡部町
町勢要覧
「Hopes」
より

○道の駅「おかべ」

埼玉⑤ 国道17号　**おかべ**

埼玉県大里郡岡部町



●TEL:0485-85-2211
●休館日:無休
●開設時間:7:00～22:00
●駐車台数:109台
●トイレ数:男15、女13、障害者3
●施設概要:地域情報、特産品展示販売
レストハウス、中宿遺跡

●「道の駅」登録：平成8年4月 日　●開所：平成9年5月23日

●設置位置
国道17号バイパス
１日平均交通量7000～8000台（南河内町の新4号線は30000台）

●事業概要
事業費：9億円　（建設省　2億6100万円
　　　　　　　　　岡部町　6億3900万円）
敷地面積：1.6ｈａ　（道の駅部分のみ）

＊道の駅「おかべ」は、中宿歴史公園の整備と共に一体的に推進された。
中宿歴史公園整備事業と道の駅「おかべ」の総事業費は22億2916万円である。財源は地域総合整備事業債に負うところが大きく、一般財源は3億4131万円であった。

●管理運営
おかべ物産観光株式会社　――――　第三セクター、80％（4000万円）町出資、代表取締役：伊藤幸徳町長。「おかべ町ふるさと物産センター」と「農産物直売所」を中心に事業を展開している。町以外の出資者は、町内の住民・企業家に限った。出資募集は非常に好評で、受け付け日の午後3時に完了した。従業員募集についても応募多数であった。営業部長は「西友」10年以上の経験者。１日に150万円の売り上げでペイするところ、現在161万円売っている。地元客は約30％。農産物は委託販売方式。登録料5000円。販売委託料12％。農産物の種類を多く、出荷量はそんなに大量でなくても良いということで、小規模の農家が活気づいているとのこと。

●その他　（伊藤町長の話より）
単なる物産館や野菜の直売所ではなく、「道の駅」として登録されることでＰＲ面でのメリットが大きい。「道の駅」は当初、埼玉県に一ヶ所とされたので、隣の深谷市との誘致をめぐる競争に苦労した。費用の捻出についての苦労は言うまでもない。

＊さて、わが町の「道の駅」は、その後どうなっているのだろう。

H8年　3／14　「道の駅」推進協議会設立総会
H9年　2／ 3　「道の駅」整備コンセプト検討書をもとに、設置場所と名称について協議。
　設置場所：新４号国道に架かる「みのり橋」北
　名称：道の駅「下野薬師寺」
参画希望団体（町・商工会・農協）が施設プランを次回の協議会までにまとめる。応分の負担が前提。

＊今回の公式訪問先は「道の駅」だけだったが、都市計画関連の研修も大切だと最近思っている。機会があれば、区画整理10年、20年後、街にどんな問題が発生するのか研修してみたい。

村尾光子の

教育民生常任委員会研修報告



教育民生常任委員会では、7月8・9日の日程で①福島県三春町立沢石中学校における個性化教育、②茨城県日立市の生涯学習拠点施設日立シビックセンターを視察研修しました。

I.三春町立沢石中学校

1.三春町の概況と学校教育行政

昭和30年三春町と周辺6村が合併して現在の三春町となった。面積72.76Ｋｍ２、郡山市に隣接する丘陵地。現在、建設省直轄による三春ダム(多目的ダム)の建設が進められている。

町立小学校7校、中学校4校、他に広域行政での中学校1校。

十数年前、当時の武藤教育長が個性化教育に向けて、①子どもの夢が育つ学校づくり、②教師の夢も育つ学校づくりの目標を掲げた。以来、その具体策として1983年に学校建築研究会(学校建築設計専門家・教育委員会・教師・住民)が組織され、学びやすい学校空間のあり方が検討され、オープンスペース設置と教科センター方式の採用となった。また、教育目標と教育活動の結びつきを考えて教育課程の見直しがなされ、モジュール学習(ﾓｼﾞｭﾗｰ・ｽｹｼﾞｭﾘﾝｸﾞ)が導入された。

2.沢石中学校：教科センター方式とモジュール学習

沢石地区は起伏の多い阿武隈山地の中にあり、殆どの家庭が兼業農家、生徒数76人、教職員数11人の僻地小規模校。H4年3月に教科センター方式採用の新校舎(2,176m^2、建設費4億5千万円)が、11月に屋内体育館(1,118m^2、建築費2億5千万円)が落成した。

《施設の特徴》

(1)すべての教科が、それぞれの専用の部屋をもっている。
(教師ではなく生徒が移動する)

(2)生活の拠点・憩いの場としてのホームスペースがある。

(3)校舎の中心に、図書室とコンピュータ室がある。

(4)温かさを感じさせる校舎の造りになっている。

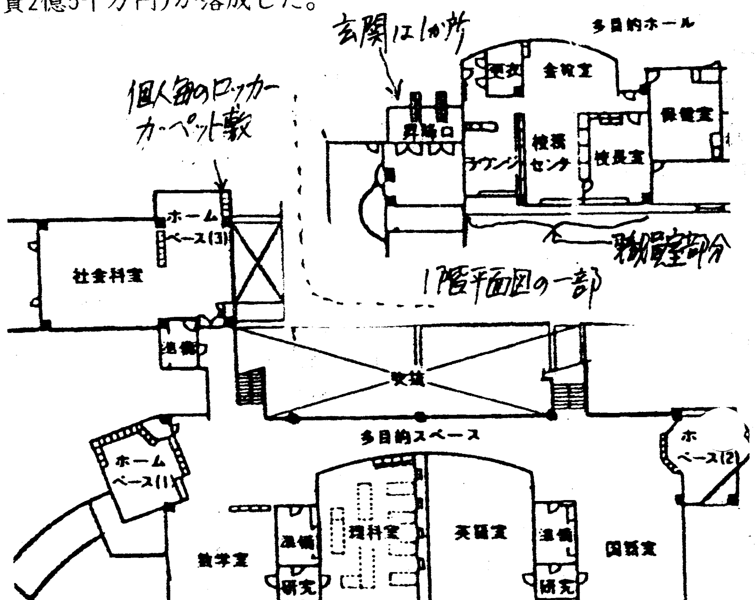
《教科センター方式の特徴》

(1)生徒の主体性を育てる

(2)各教科の特質に応じた学習環境の充実が図りやすい。

(3)教科の学習内容に応じた多様な学習活動を工夫しやすい。

(4)移動することにより、気持ちの切り替えができる。



2階平面図

《モジュール学習》

従来の一律に50分を一単位時間とする学習では、途中で学習を終えなくてはならない場合や、基礎的な学習事項習得では長時間同じ様なことを繰り返すより短時間での学習を繰り返すことの有意性を考慮して、25分を1モジュールをする学習期間を設定した。

一学期後半と二学期後半の２回、いずれも3週間ずつ実施。生徒が自分の学習状況に応じて自主的に学習活動を展開するフリーモジュール学習も設定される。この期間以外は通常のカリキュラム。時間割などは教師が計画立案する。

例：6月23日(月)の時間割　(1コマは25分、FMはフリーモジュール学習)

	①	②	③	④	休息	⑤	⑥	⑦	⑧	給食	⑨	⑩	⑪	⑫
1年	社		道徳			国	書				英	音		
2年	英	FM	数			理		道徳			体			
3年	道		国			英		FM	理		理	社		

ねらいは、生徒一人ひとりが時間を自分の時間として取り入れ、主体的に生活を送ることや、課題解決への粘り強さを身に付けること。学習者一人ひとりに個性的な学習を保障していくためには、通常カリキュラムの教科学習において、課題選択型の学習を多く設定することや「ひとり学び」を可能にする学習材の開発に努めること、教科によっては個が自らの課題を設定し学習に取り組む課題設定学習を積極的に取り入れていくことなど、モジュール学習での生徒活動を支える下地を培っていく。

個性化教育の一般化
- 通常カリキュラム：個性化教育を支える基礎・基本の定着　⇒指導の個別化
- モジュール学習：教科の良さ・個のこだわりの追求・個性の伸張⇒学習の個性化

H10年度からは生徒が自ら立案するパーソナルモジュール期間を設ける予定。

《その他の特徴》

・チャイムはない。(町内小中学校すべてで)

・「指導」という言葉は使わない。　例：生徒指導委員会 ⇒ 生徒活動支援活動推進会

・生徒会催しについては、生徒会代表が職員会議に出席して提案する。

・職員室ではなく校務センターと呼び、円卓が置かれた会議室と一体的に造られている。教師の机は子ども達の学習机と同様に前面に個別の書棚と照明付き。

・時間割は1週間毎につくり、生徒のホームスペースに掲示される。

・体育館の正面ステージ奥は殆ど全面がガラス窓、側面も同様。実はガラスではなく合成樹脂製。地域開放施設も併設。

・教室は生徒の要望により自由席。ホームルームはホームスペースに隣接する教室を利用する。

・学年毎にテーマを設定した課題研究に年間25時間確保、進路学習として事業所訪問・職業体験・年2回の進路学習講演会を開催。

感想：説明して下さったのは佐藤秀治教頭先生。三春方式の教育に自信と信頼を寄せられているのがひしひしと伝わってきた。独自の教育方式の創設は当時の武藤教育長による。かつて議会全体研修や社会教育委員研修で三春町を訪れ、お会いしたこともある。更に２年前だったか、宇都宮で武藤先生の講演を聴いて大変感動した。「尊敬しています」と胸を張っておっしゃる言葉に、教育への熱意と理念を継承していくことへの力強さを感じた。

学年3クラスまでは教科センター方式ができるとのこと。三春町では5中学校のうち4校がこの方式を採用している(未採用校は生徒数多い)。校長・教頭が替わっても学校のあり方が変わらないよう教育課程を明文化しているとも言っていた。町では各小中学校から2名ずつの教師が参加する学校教育研究委員会を町条例で設置し、理論・実践・研究を任せている。

視察に訪れる人はとても多い。なのに「県外の方が殆どで、県内での波及が期待できないのは残念です。」と一瞬寂しそうに話された。　僻地小規模校とはいえ、実に多くのことを学んだ。

Ⅱ.日立シビックセンター

1.ひたち生き生き百年塾:生涯学習運動

S.61年、生涯学習市民会議「ひたち生き生き21生涯学習市民会議」(委員17名、うち公募3名)が発足し、2年間かけて市民の生涯学習推進計画「百年塾プラン」を策定した。63年に市民と行政が一体となった「ひたち生き生き百年塾推進本部」(本部長は市長、推進委員は市民と行政から150名)を設置して、市民が福祉・環境・青少年・防災・安全・健康・スポーツ・産業・国際化・文化などのあらゆる分野で自主的に教え合う活動を展開している。

《百年塾の主な事業》

全体事業:・生涯学習座談会・「百年塾フェスタ」開催・50才市民のつどい
市民教授と活用事業:・市民教授の募集と登録推進(現在920人登録)・市民教授研修会
・活用モデル事業助成・公民館モデル事業助成・指定校(幼・小・中)助成
・「知って得する百年塾おもしろゼミ」
情報提供:・公民館自主グループ情報発行・開かれた学校事例の研究
・企業の社会貢献に関するマップ作成・パソコン情報の整備
広報活動:・「百年塾ひろば」年5回発行(全世帯配布)・市報「市民教授紹介コーナー」掲載
研究・調査:・企業の社会活動、文化活動のPR支援・日立駅前開発地区オフィス町内会との連携・「働く女性によるワーキングチーム」「熟年研究会」の活動支援
百年塾相談コーナー:シビックセンター地下1階百年塾サロン内

2.日立シビックセンター

S.51年に都市部の強化と活性化を目的に日立駅前開発整備事業の計画が出され、61年に建設省の新都市拠点整備事業として事業着手された。駅前にあった旧日本鉱業日立鉱山の貨物基地跡地とその周辺を都市空間として整備するもので、シビックセンターはその主要な施設となっておりH2年にオープンした。その他の施設はパティオ日立(日立新都市広場)・商業施設・業務施設・ホテル等で、地区内にある企業(日立セメント)からの熱源を活用して地域内冷暖房システムを導入している。

施設内容:地下1階・地上10階建ての建物とひろば(日立パティオ 9300m 、大理石造り)
建設主体は日立市、ひろばを除いた建築費は120億円

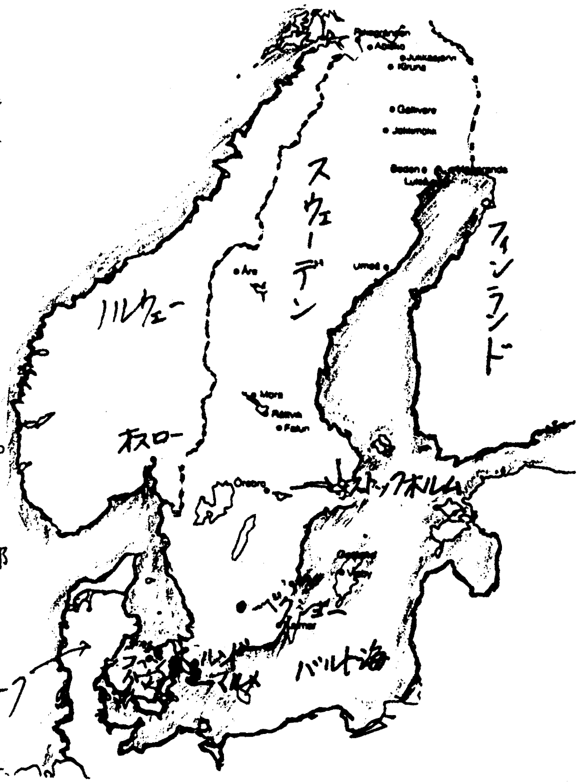
天球劇場:地上50メートルにある直径27メートルのドーム型劇場、248席。プラネタリウムと大型ドーム映像を上映できる。講演会・映画会・コンサートにも利用できる。
科学館:1階入口、B1階ショップとエレベーター、8・9階が展示フロアー、実験ショーコーナーもある。
情報プラザ:B1階、スタジオ・ビデオ編集室・パソコン室(有料)とパソコン通信等ができる無料ゾーンがある。
記念図書館:B1・1・2階、蔵書数31万冊
日立市社会福祉協議会:6階、在宅障害者デイサービス・ボランティアセンター
おもちゃライブラリー・結婚相談
音楽ホール:3階、残響1.8秒、シューボックスタイプの音楽専用ホール、客席数826席。
多目的ホール:2階、コンサート・美術展・パーティ等に利用できる舞台なしの部屋。
マーブルホール:ひろばと一体的に利用できる多目的ホール
その他:茨城県旅券センター・市民コーナー(住民票等発行)・百年塾サロン等

感想:日立市の生涯学習への先進的な取り組みは、以前から注目されている。今回は施設見学が主たる目的だったが、数年前に訪問した時の方針が着実に実現され、進展させている様子が窺えた。施設は大変立派!自治体の規模が比較にならないのは事実だが、それにも増して層が広くて厚い市民の活力を実感した。日立市もよそから移り住んだ人が多いまちと聞いた

村尾光子の**スウェーデン・スタディツアー報告**

――市川房枝記念会主催の研修に参加して――

7月31日から８月８日までの日程で、女性の政治参画と高齢者福祉をテーマとした研修に参加しました。同行した早稲田大学の岡沢憲芙先生、現地スウェーデン・ベクショー大学の鈴木満先生の講義も盛り込まれており、大変充実した内容でした。参加費はとても高く（私には）、日程もハードでしたが大いに満足しました。概略を報告いたします。



シベリア経由11時間30分の飛行でデンマーク・コペンハーゲンの飛行場に到着、船に乗り換えて40分位でスウェーデン南部のマルメに到着、入国手続。帰りはストックホルムから成田へ。

研修先：マルメ・ベクショー・ストックホルムの３都市の市議会、高齢者福祉施設、図書館、国会見学
環境大臣アンナ・リンドさん始め各市の市長や副市長、議員に面会、懇談

《日程》

7月31日	11:45	成田発
	17:25	マルメ着　（日本との時差7時間）
8月 1日	9:00	マルメ市長 ビルギッタ・ニルソン女史と会見
	11:00	市庁舎見学
	13:30	高齢者総合施設オレスンズゴーデン視察
	16:00	マルメ市立中央図書館、音声図書館視察
2日	終日	コペンハーゲン観光
3日	7:30～	ルンド、コスタ・ボーダ経由ベクショーへ
		車中、岡沢教授の講義
	15:00	移民博物館見学
	20:00～22:30	講義
		鈴木教授「スウェーデンの地方自治の現状」
		岡沢教授「女性の政治参加と社会福祉政策」
4日	9:00	ベクショー市立図書館見学
	10:00	ベクショー市議会男女平等委員会訪問
		委員長 カーリン・ヒューグステッド女史
		副市長 ボー・フランク氏　と会見
	12:00	両氏と昼食会
	13:30	高齢者総合施設ダルボー視察
	16:45	ストックホルムへ（飛行機）
	21:00～23:45	岡沢教授の講義
5日	9:30	ストックホルム市庁舎見学

《スウェーデン概況》

人口880万人（神奈川県位）、ストックホルムはカムチャッカ半島の付け根とほぼ同緯度に位置するが、メキシコ湾流の影響でシベリア等に比べて暖かい。

国土面積は日本の約1.2倍。ストックホルム、ヨーテボリ、マルメが3大都市。マルメとコペンハーゲンは海峡を挟んでわずか20Kmしか離れておらず、交流が盛ん。過去180年間は戦争せず。

地方自治体は23ランスティング（県相当、レーンとも呼ぶ?）と290程のコミューン（市町村）で構成されており、それぞれに議会がある。国会も地方議会も選挙は比例代表制で有権者は政党を選ぶ。国会・地方選挙は同日に実施されるためか、投票率は80%

	14:00	国会議事堂見学
	16:00	ストックホルム市立図書館見学
	19:00	スーパーマーケット探訪
6日	9:00	市庁舎にて女性議員と懇談
		ｱﾆｶ・ﾄﾞﾐﾆｳｽ議員 女性の政治進出について
		ﾋﾞﾙｷﾞｯﾀ・ﾌﾞﾚｲﾗ議員 福祉政策について
	13:30	環境大臣アンナ・リンド女史と会見
	14:30	老人ホーム　　　視察
7日	9:00	旧市内観光
	15:05	ストックホルム発
8日	8:20	成田着

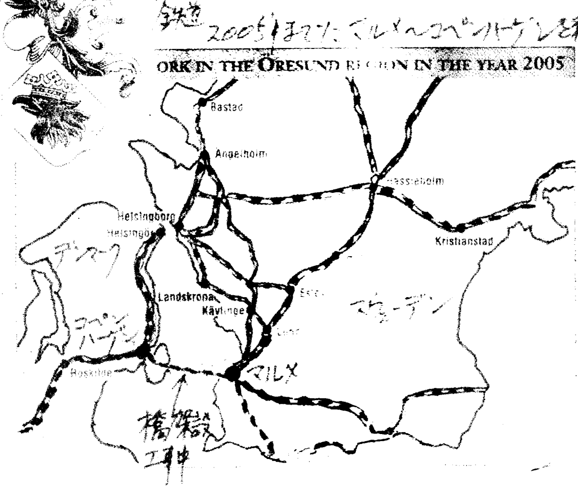
以上。殆どの政党が女性議員を増やすためのクォータ制を導入しており、国会においては半数近く、地方議会でも40%近くを占める。

議会と行政との関係は、わが国とは全く異なり、地方議会ではフルタイマー議員(理事、執行機関に相当?))と余暇タイマー議員としての活動の仕方がある無論、報酬額も異なる。国も地方も議員内閣制。県は健康及び医療、看護学校・農林学校・国民高等学校等の高等教育の一部、観光を含んだ文化・余暇事業、県内の公共交通を担っている。

多くの自治体はその予算の2/3近くを社会福祉に、残りを教育や文化・余暇などに配分している。「スウェーデンは人権と情報公開の国、生活は社会主義(どこに住んでも同じ様な生活ができる)、経済は資本主義」とは岡沢教授の言葉。

1. マルメ市　　　　(Malmö)

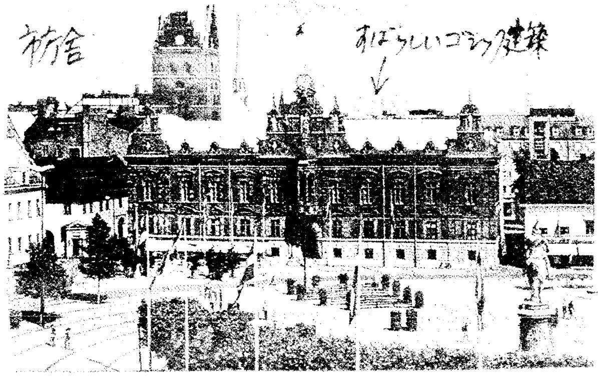




街並みは大変美しく清潔だ。1275年から都市として指定され活動している。1658年にデンマーク領からスウェーデン領になった。人口24万8千人の国内第3番目の都市。発展しており人口増加している。1/4は外国人または外国系。世帯数の半数は独居で2人家族は30%。80%の市民は集合住宅に、20%が独立家屋に居住している。65才以上は20%。1900年代は造船を中心とした工業都市だったが、工業のみへの依存は止め、2015年を目標に知識と文化の都市形成への変革をしようとしている。コペンハーゲン間のオレスンド橋建設と大学建設、そして地下鉄建設が3大プロジェクト。市内には1万の事業所があるが大部分は中小企業。今後はハイテク関係の企業を多く誘致する戦略。

失業率は12%と全国平均より高い。労働者の38%(25000人)が公務員であり、うち60%はケアー部門。

予算規模は年間126億ｸﾛｰﾈ(約1890億円)、歳入内訳は市税58%・国庫補助金18%・料金徴収24%、歳出の50%は社会福祉と児童・医療に支出している。(マルメ市は1997年にスコーネ県と事務統合し、1999年からスコーネ県議会に参加する)



市税の税率は毎年見直され今年度は30.05%、その他教会税0.92も徴収。所得に係わらず一律の税 率。地方税の税率は合計で31%。
(国所得税は年収21万クローネ以上が課税対象、それ以下の時は基礎額の100クローネ(1500円位)を払えばよい。非課税限度額は毎年決められる。国の所得税率は20%と本で読んだ)

→1546年建築、1860年一部改築 議会はこの中にある 行政は新庁舎

《マルメ市議会》

議員定数61人、内女性議員は27人。

〈政党議席数〉	94年改選	改選前
社会民主党	33	26
保守党	18	24
国民党	3	5
スコーネ党	3	2
環境党	2	?
左翼	1	?
中央(旧農民)党	1	?



⇧

議場。議席は議長席を囲んで半円形に配置。古い建物からは想像できない程、内部は近代的設備。表決は自席のボタンを押す。OHPもある

ビルギッタ・ニールソン市長。議員になる前はバスの運転手だった。⇨



最多党の社会民主党では17人が女性。

委員会は財政・都市計画と環境・社会福祉・文化と余暇・経済と教育・保健と医療の６つ。各委員会の長が市長となり、民間からの2名を加えて理事会を構成する。市長ポストは各党の議席数に按分して配分する。現在、理事会の半数は女性で、理事長(議長)は男性だが、副理事長(副議長)2名のうち1名は女性。また、議員の平均年齢は46歳、最高齢者は71歳、最若年者は21歳となっている。各政党は若い人の起用を考えている。

市議会ではベーテ・ムー・ヴドール女史(第1書記官、国際交流担当)と社会福祉担当市長ビルギッタ・ニールソン女史(副議長でもある)の説明を聞いた。

民主主義を浸透させるため、市内を10地区(人口11000～35000人)に分け各地区に合った施策を行っている。各市長は市全体について責任を持つ。職員25000人(女性は80%)の従事分野はケアー部門60%、学校 15%、技術関係 15%、計画と環境 10%。労働人口の38%が公共部門で働き、民間労働者は6割程度。昨年は、男女機会均等について現場でどうすべきか、各部門毎に計画策定した。国には男女平等オンブズマンが設置されており、それと連携するものとして市には男女平等委員会がある。

福祉施策：ビルギッタ・ニルソン市長(社会民主党)の説明　　1クローネ ≒ 15円

市予算の40%を社会福祉費として預かっており、そのうち最大の支出は人件費、次いで家賃。近年、高齢化が進み社会福祉費が増大しているため、民間委託化を進めた。その結果、委託事業は30%(国内では10%位)となり県からの批判がある。サービスの質を落とさぬよう入札に際しては基準を設けている。委託は3年を1ピリオドとして見直す。福祉予算は1人当たりの費用と対象人数から地区毎に積算し(例:児童福祉6万5千クローネ/人・年、サービスハウス 4万5千クローネ/人・年)、全体額を議決する。

高齢者福祉：1993年の国のエーデル改革により、それまでの老人施設(長期療養病院・老人ホーム)を廃止して新しいサービスハウス(介護付き住宅・食事付き住宅・老人ホームの複合施設)を作った。できるだけ自宅に住むことを目標に、家庭医療と介護のネットワークを整備するもの(この改革により、65歳以上の医療は県から市町村に移管された。――通訳嬢の説明)。自宅に住むことが困難になった人はサービスハウスに入居する。家賃や、必要なサービスを受けるときも有料で、収入の6.8%を払う。また、在宅での清掃等のホームヘルプは収入の3%、交通サービス(公共交通の利用が難しい人のタクシー利用)は390クローネ/月を支払う。これらは個人の年金から支出するが、1350クローネ/月はお小遣いとして手元に残るようにし不足分は免除される。市内には200ヶ所以上のサービスハウス がある。

児童福祉：「すべての子どもは保育される場所を選べる権利がある」と法に規定されているが、保育所に入りたい子の待機者は60人ある。市は入所の優先順位を決めており、失業者・移民の子ども達の45%は保育所を確保している。幼稚園のうち18%程は市委託による私立幼稚園。市補助金

により保育内容は公立と変わらない。義務教育(基礎教育)は7歳から9年間。障害者のための特別学校や移民家族のためのスウェーデン語の授業事業もある。

サービスハウス オレスンデゴーデン



正面玄関。内部の立派さは想像できない程簡素。入ってすぐ右手がレストラン、左奥に講堂。

市内リムハン区(人口29000人)には29箇所のサービスハウスがあり、その1つ、オレスンデゴーデンを訪問した。

1976年に老人ホームとして建設されたが、近代的なサービスハウスとして改築した。1995年には全国で一番良い施設と認定された。

知的障害者5人も入居している。

施設入居者 150人、職員数 150人(75%が女性)

3部門
- サービスハウス 73人:56～90m²の個室
- グループホーム 16人:8人/グループ、1つはアルツハイマーの人達
- ナーシングホーム 63人:24時間介護が必要な人、全室トイレ・シャワー・リフト付き19m²の個室

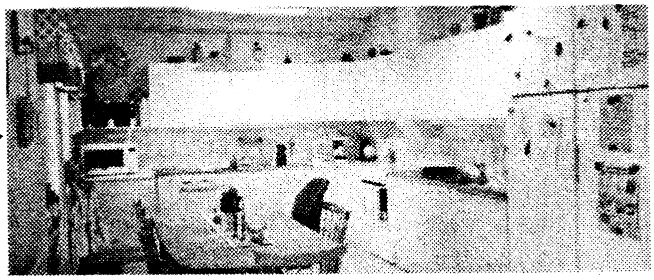
その他
- デイセンター:年中無休(9時～3時)、主に痴呆性老人が利用、区内の利用資格者 20人
- ホビールーム(趣味の部屋):入居者と地域住民が利用、専属スタッフ 3人
  料理・陶芸・木工・織物等のサークル活動、材料費は自己負担
- レストラン:授産施設と連携して運営、地域開放(誰でも利用できる)
- プール:水温26度、地域開放施設(65歳以上17クローネ、一般22クローネ)
- アラーム(緊急通報)センター:マルメ市全体のステーション。市内高齢者2000人が利用。



ホビールーム
織物
レース編み
ししゅう
(にこやかな 女性は95才)
作品はクリスマスバザーへ



デイセンターの台所。手伝える人は一緒に作る。リビングもある。
利用者:平日10～12人、週末6人
利用料金:食事代 47クローネ/日
1～3回/週 収入の3.4%+食事代
3～6回/週 〃 6.8%+食事代
利用するには専門家の判定が必要





グループホームの居室。トイレ・シャワー付きの個室 8部屋が1グループ。共通部分として台所、食堂。一人毎に介護責任者がいる。スタッフは日中9人、夜間2人。必要に応じて医師が訪問する。

"続きは次号へ・・・"